

「ライトアート in 折立」

折立市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

平成28年度から活動している折立素敵物語実行委員会では、折立学区の立体地形模型などを制作し、それらを活用し折立小学校にて毎年出前授業を実施するなど、若い世代にも地域に関心を持ってもらえるよう活動を行ってきました。

令和元年度には折立小学校6年生の授業「町の幸福論」で発表された小学生のアイデアから、地域活性化を目的として、折立公園で光をモチーフにしたイベント「ライトアート in 折立」が初めて開催されました。今年度4回目を迎え、折立地域の冬の風物詩として欠かせないイベントとなっています。



2 令和4年度の活動



今回初めての取組みとして、折立小学校、折立幼稚園・ナーサリールーム、折立保育所の子ども達が給付けしたペットボトルランタンを飾りました。前回より折立小学校の児童全員が「ピカボード（LED発光ボード）」の制作も行うなど、学校を挙げてこの事業に参加しています。

また、折立市民センター主催事業「おりちゅう地域もりあげ隊」に参加している中学生企画員11名は、来場する子ども達が楽しむ工夫としてクイズラリーを企画し準備を進めました。

この事業の運営には、地域住民による運営委員の他、折立小学校PTA、大学生ボランティアなど総勢約100名のスタッフが関わっており、回を重ねるごとに地域の盛り上がりが増しています。

3 成果と課題

12月3日のイベント当日は、昨年を超える約1,300人の来場者があり、ランタンのろうそくの灯りや、公園内の池に映るイルミネーションの光に感動の声が上がっていました。子ども達は自分が制作したランタンを見つけて家族と観賞したり、ゲストの「おすび丸」と写真を撮ったりと至る所で交流する様子が見られました。

一方、事業の中心を担う運営委員の高齢化が進んでおり、準備や夜間の後片付けに体力的な不安があることから、幅広い世代の積極的な参画が求められています。



4 今後の展望



ランタン等の制作を通じて学校や幼稚園・保育所との連携を図ったことにより、多くの家族連れが来場し、様々な世代の住民が本事業に対する関心を深めているようです。

今後は小学校や中学校のPTAとの結びつきを強固にし、次世代の地域を担う人材の発掘に繋げていくとともに、中学生や高校生が地域で活躍する機会を設け、地域一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。